

# 【平成 27 年度第 4/四半期(28.1~3 月)中小企業景況調査報告書】

静岡県商工会連合会（以下商工連）では、県下商工会地区内小規模企業の景況を把握するため、10 商工会の会員事業所に協力依頼し、中小企業景況調査を四半期毎に実施しております。

このたび、平成 27 年度第 4/四半期（28.1~3 月）の調査結果がまとまりましたので報告します。

## 1 調査概要

調査時点：平成 28 年 3 月 1 日

調査対象業種：製造業、建設業、小売業、サービス業

調査対象：150 事業所（県内 10 商工会 1 商工会 15 事業所）

回答：148 事業所（内訳 製造業：33/33 建設業：21/21 小売業：42/42 サービス業：52/54）

調査方法：所定調査票に基づく商工会の経営指導員によるヒアリング方式

集計方法：業況/売上/仕入単価/採算/資金繰りの質問項目の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

## 2 概要（トピックス）

### 【全体の業況は好転したが、小売業は悪化、来期は製造業、サービス業が好転を予測】

平成 27 年度第 4/四半期（28.1~3 月）の産業全体の業況 DI（景気動向指数）は-18.4（前期-21.5、前年同期-30.3）で前期比 3.1pt 好転した。来期は製造業、サービス業が好転を予測している。

#### 【製造業】

業況 DI は 5.9（前期 0.0、前年同期-27.2）で前期比 5.9pt 好転した。

前期と比べ、売上、採算の各 DI は好転した。経営上の問題点としては、「生産設備の不足・老朽化」、「需要の停滞」を挙げる事業所が一番多く、次いで「製品(加工)単価の低下、上昇難」が挙げられた。

#### 【建設業】

業況 DI は-19.0（前期-25.0、前年同期-11.5）で前期比 6.0pt 好転した。

前期と比べ、完成工事額、採算、資金繰りの各 DI は好転した。経営上の問題点としては、「熟練技術者の確保難」を挙げる事業所が一番多く、次いで「民間需要の停滞」、「請負単価の低下、上昇難」が挙げられた。

#### 【小売業】

業況 DI は-22.5（前期-2.7、前年同期-27.0）で前期比 19.8pt 悪化した。

前期と比べ売上 DI は悪化した。採算、資金繰りは好転した。

経営上の問題点としては、「購買力の他地域への流出」が一番多く、次いで、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」が挙げられた。

#### 【サービス業】

業況 DI は-18.0（前期-23.6、前年同期-37.5）と前期比 5.6pt 好転した。客単価、採算の各 DI は好転したが、資金繰りは悪化を示した。

経営上の問題点として、「需要の停滞」が一番多く、次いで、「利用者ニーズの変化」、「店舗施設の狭隘・老朽化」が挙げられた。

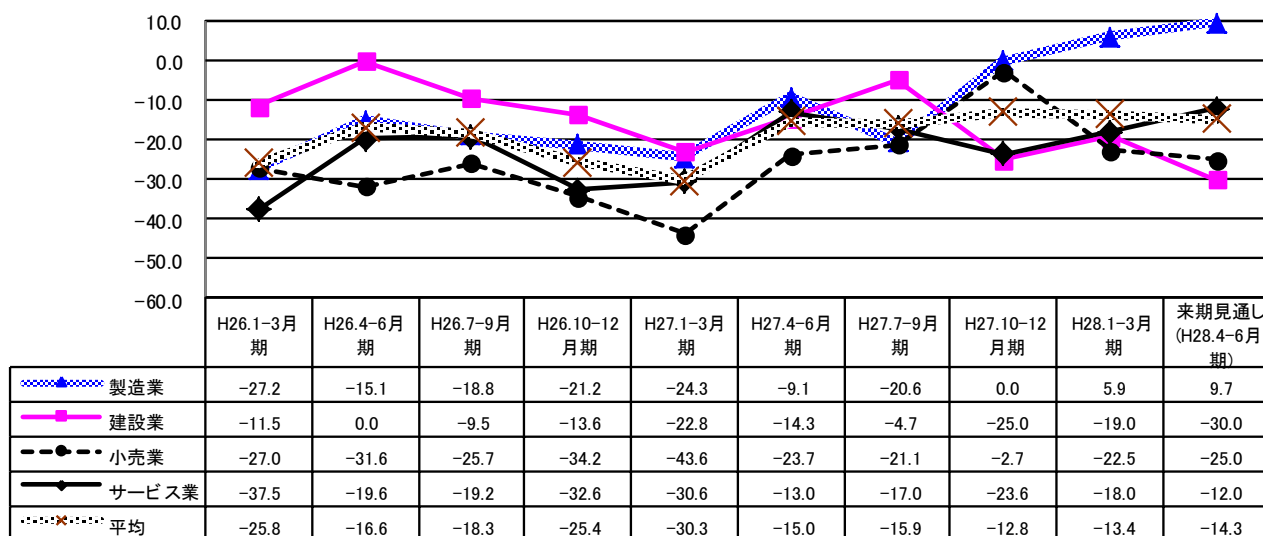
## 本調査に関するお問い合わせ

静岡県商工会連合会 経営管理課 電話 054-255-8080 [担当：池谷、吉本]

※データ入用の場合はご一報下さい。

## (1)業種別業況DI推移表

業況DI推移表



## (2)各業種売上等に関する項目

### 製造業

期別／項目別	売上額	採算	資金繰り
H26.1-3月期	-0.1	-12.1	-15.7
H26.4-6月期	-3.0	-12.1	-21.2
H26.7-9月期	-9.3	-21.9	-12.1
H26.10-12月期	-18.7	-31.3	-9.0
H27.1-3月期	-6.1	-15.6	-3.1
H27.4-6月期	-2.8	-17.6	0.0
H27.7-9月期	-5.9	-26.4	-12.1
H27.10-12月期	2.9	-18.1	-5.8
H28.1-3月期	5.9	0.0	-5.9
来期見通し (H28.4-6月期)	8.8	9.0	0.0

### 小売業

期別／項目別	売上額	採算	資金繰り
H26.1-3月期	-15.0	-21.0	-17.5
H26.4-6月期	-25.7	-26.3	-18.0
H26.7-9月期	-35.9	-37.5	-25.0
H26.10-12月期	-32.5	-42.5	-10.3
H27.1-3月期	-48.6	-30.7	-10.2
H27.4-6月期	-31.5	-25.6	-15.4
H27.7-9月期	-15.0	-17.5	-5.0
H27.10-12月期	-12.8	-33.3	-10.2
H28.1-3月期	-32.5	-22.5	-5.0
来期見通し (H28.4-6月期)	-32.5	-17.5	-12.8

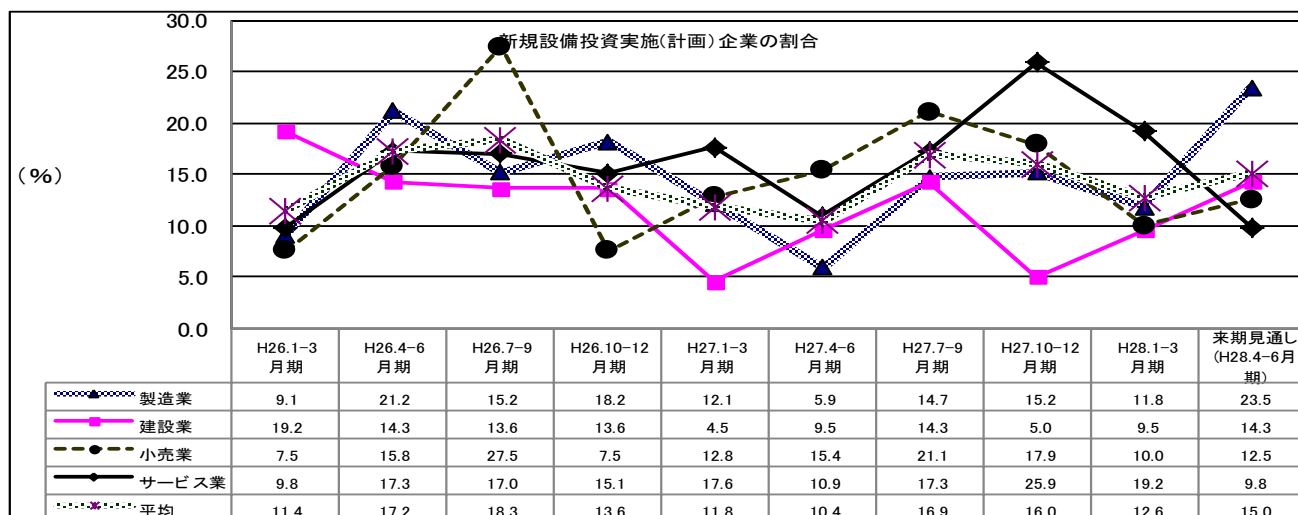
### 建設業

期別／項目別	完成工事額	採算	資金繰り
H26.1-3月期	-11.5	-30.8	-15.4
H26.4-6月期	10.0	-14.3	-23.8
H26.7-9月期	0.0	-19.1	-18.2
H26.10-12月期	-23.8	-42.9	-19.0
H27.1-3月期	9.1	-13.6	-13.6
H27.4-6月期	-33.4	-10.0	-10.0
H27.7-9月期	0.0	-19.0	-9.5
H27.10-12月期	-35.0	-38.1	-23.8
H28.1-3月期	-4.7	-28.5	0.0
来期見通し (H28.4-6月期)	-9.5	-28.5	-10.0

### サービス業

期別／項目別	売上額	採算	資金繰り
H26.1-3月期	-34.1	-40.0	-17.1
H26.4-6月期	-26.9	-34.5	-17.3
H26.7-9月期	-13.2	-30.7	-5.9
H26.10-12月期	-32.1	-41.6	-20.8
H27.1-3月期	-21.6	-33.4	-11.8
H27.4-6月期	-5.7	-20.0	-7.4
H27.7-9月期	-20.0	-25.4	-16.6
H27.10-12月期	-20.0	-29.1	-20.7
H28.1-3月期	-9.4	-9.6	-28.9
来期見通し (H28.4-6月期)	-15.0	-10.0	-15.4

### (3)各業種設備投資に関する項目



#### ◇今期実施した投資

業種	投資内容(多い順)
製造業	生産設備、工場建物
建設業	OA 機器
小売業	車両・運搬具、販売設備、付帯施設、土地
サービス業	付帯施設、車両・運搬具、サービス、OA 機器、建物、その他

### (4)各業種の経営上の問題点

製造業	1位	生産設備の不足・老朽化
		需要の停滞
	3位	製品(加工)単価の低下、上昇難

建設業	1位	熟練技術者の確保難
	2位	民間需要の停滞
	3位	請負単価の低下、上昇難

小売業	1位	購買力の他地域への流出
	2位	仕入単価の上昇
	3位	需要の停滞

サービス業	1位	需要の停滞
	2位	利用者ニーズの変化
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化

## (5)調査対象事業所のコメント抜粋

業種	地区	コメント(業況判断の背景)
製造業	伊豆	既存商品の拡販により、売上、利益共に上昇傾向にある。
製造業	富士駿東	人手不足である。募集をかけても、なかなか人材が確保できない。
製造業	中部	去年は、釜揚げ桜えびが欠品続きで売上がなかったが、1月2月は日によって50～70万円の売上があり、今後も期待できる。
製造業	中東遠	円高、株安の傾向であるが、今のところ注文数は変わっていない。

建設業	伊豆	受注及び見込みも安定している。
建設業	富士駿東	人件費の増加により、利益幅が下がってきている。
建設業	中東遠	知人である等の信頼関係で仕事を依頼してくれる人がいなくなってきた。
建設業	中東遠	人材が不足しているが、人材の育成が必要と思っている。

小売業	伊豆	パートの人数が減少した事により、店主が外出の際、店を閉める事になり、売上が下降してしまった。
小売業	富士駿東	ガソリンの仕入れ価格は下がっているが、難しい状況である。近隣の同業者が閉店した為、客数は増加した。
小売業	中部	業況は悪化している。2月の売上の落ち込みが激しく、寝具業界全体が悪い状態で推移している。
小売業	中東遠	マイナンバー効果で11～1月は売上が増加したが今は落ち着いてしまった。
小売業	西遠	売上減少が続いている、打開策を模索しているが、経費を切り詰めている。

サービス業	伊豆	いつも通り、リピーターを大切にしながら、サービスを心掛けているので、売上の変動はさほどない状態である。
サービス業	富士駿東	期待している程の客数、売上には至らずの状況である。客数のV字回復を狙っているが、焦らず地道にコツコツと積み上げていくしかないと思っている。
サービス業	富士駿東	最近、私達の業界では老舗の廃業が多くなった。
サービス業	中部	1月2月は暖かった為、人の動きが活発で売上が前年比20%増であった。しかし、3月以降の反動を考えると不安を感じる。
サービス業	中東遠	駐車場が店の前に欲しいが、店を改装しての資金も苦しい状況である。
サービス業	西遠	マイナンバー写真の需要が思っていたより増えたと写真業界では評判になっている。